



私立短期大学図書館協議会
関東甲信越地区協議会会報



※会報のご意見・お問い合わせ

会報担当館：鶴川女子短期大学附属図書館 是枝真優子 (tsurutan-tosho@meisen.ac.jp)
上田女子短期大学附属図書館 須田 智里 (lib@uedawjc.ac.jp)

====<目次>=====

- ▼2013 (H25) 年度関東甲信越地区 総会報告
- ▼2013 (H25) 年度関東甲信越地区 研修会報告
- ▼『短期大学図書館研究』34号 原稿募集
- ▼事務局だより
- ▼編集後記

▼2013 (H25) 年度関東甲信越地区 総会報告

- 日時 2013 (H25) 年 5月17日 (金) 午前11時～11時30分
- 場所 青山学院女子短期大学 第一会議室
- 参加 出席27館 (29人)、委任状提出28館、 合計55館

開会に先立ち、毛利会長より挨拶があり、午後開催の講演会について紹介があった。
会則第9条に基づき会長が議長となり議事を進行した。

議題として、①2012 (H24) 年度事業報告 ②2012 (H24) 年度決算報告・監査報告
③2013 (H25) 年度幹事校紹介 ④2013 (H25) 年度事業計画 (案) ⑤2013 (H25) 年度
予算 (案) が提出され審議の結果、すべて原案どおり承認された。

○報告・承認事項

1. 2012 (H24) 年度事業報告

- (1) 会勢 (2013年4月1日現在) 58館
<入会> 1館
愛国学園短期大学附属図書館

(2) 総会・合同幹事会の開催

<総会>

日時：2012年5月18日 (金) 11:00～11:25
場所：鶴見大学図書館 地下1階 視聴覚ホール



<幹事会>

- 第1回(合同) 2012年5月18日(金) 鶴見大学図書館
- 第2回(合同) 2012年7月20日(金) 戸板女子短期大学図書館
- 第3回(合同) 2012年9月28日(金) 共立女子大学・共立女子短期大学図書館
- 第4回(合同) 2012年11月16日(金) 共立女子大学・共立女子短期大学図書館
- 第5回(合同) 2013年1月25日(金) 共立女子大学・共立女子短期大学図書館
- 第6回(合同) 2013年3月15日(金) 青山学院女子短期大学図書館
- 第7回(合同) 2013年5月10日(金) 共立女子大学・共立女子短期大学図書館

(3) 関東甲信越地区協議会会報の発行

第52号(2013年3月発行) 地区総会・研修会関係報告

(4) 関東甲信越地区協議会研修会の開催

日 時：2012年10月19日(金) 13:00~17:00

会 場：聖徳大学 川並弘昭記念図書館 香順メディアホール

参 加：40館 31名

テーマ：「図書館サービスのあり方を考える」

講 演 1：前川 和子氏(大阪大谷大学)

「学生が考える図書館サービスのPR方法

：情報サービスを中心にして」

講 演 2：木内 公一郎氏(上田女子短期大学)

「短期大学生の職業的社会科プロセスと図書館サービス」

図書館見学：聖徳大学川並弘昭記念図書館

2. 2012(H24) 年度決算報告

決算報告書は、協議会 HP (<http://shitantokyo.org/>) 会計報告に掲載。

3. 2013(H25) 年度幹事校と役割分担(敬称略)

【本 部】

会 長： 亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部(毛利 和弘)

事務局： 共立女子短期大学図書館(久保 寿治)

会 計： 女子栄養大学短期大学部図書館(加藤 友子)

監 査： 山野美容芸術短期大学図書館(久保田 智弘)

戸板女子短期大学図書館(海老澤 彩乃)

【地区協議会】

会 長： 亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部（毛利 和弘）
事務局： 埼玉東萌短期大学附属図書館（片野 裕嗣）
 足利短期大学附属図書館（永瀬 美佐子）
名 簿： 鶴川女子短期大学附属図書館（是枝 真優子）
 上田女子短期大学附属図書館（須田 智里）
会 計： 鶴川女子短期大学附属図書館（是枝 真優子）
研 修： 足利短期大学附属図書館（永瀬 美佐子）
 埼玉東萌短期大学附属図書館（片野 裕嗣）
広 報： 上田女子短期大学附属図書館（須田 智里）
 鶴川女子短期大学附属図書館（是枝 真優子）
監 査： 鶴見大学図書館（近藤 聡子）

【サポート幹事】

2013（H25）年度より新たに、業務引継ぎのため幹事館の任期終了後2年間、メール上でサポートする「サポート幹事」と、より良い研修会の開催・運営の助言を主たる目的とする「常任サポート幹事」の二種類を置くことにする。

サポート幹事： 新潟青陵大学短期大学部図書館（高野 聡）
 実践女子短期大学図書館（土居 道子）

常任サポート幹事： 湘北短期大学図書館（高橋 可奈子）
 清泉女学院大学・短期大学図書館（田村 栄子）

4. 2013（H25）年度事業計画

（1）関東甲信越地区協議会研修会の開催

日 時：2013年10月18日（金）

会 場：亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部図書館

 プレゼンテーションルーム2（太田構造記念館内 3F）

テーマ：「図書館サービスのあり方を考える

 -図書館利用教育を如何に行うか」

講 師：藤懸徳仁氏

*講演と報告に関しては、研究誌『短期大学図書館研究』（ISSN:0388-3663）
33号（2014年3月発行予定）への論稿化を依頼する。

（2）関東甲信越地区協議会会報の発行

53号（2014年3月発行） 地区総会・研修会関係報告

*協議会 HP（<http://shitantokyo.org/>）に PDF 化し掲載。

(3) 本部・地区合同幹事会

- ・原則として、年間6回の開催予定（奇数月、5・7・9・11・1・3月）。
- ・臨時の合同幹事会については総会・研修会準備等の都合により随時開催。

5. 2013（H25）年度 予算書（案）

[収入の部]

(単位：円)

勘定科目	予算額	備考
前年度繰越金	421,425	
交付金	290,000	58館 × 5,000円
助成金	100,000	地区一律
雑収入	575	
合計	812,000	

[支出の部]

(単位：円)

勘定科目	予算額	備考
事業費	230,000	
(内訳) 年次総会費	0	会場費（全国総会と同会場・青山学院女子短大）
研修会費	200,000	会場費、講師謝礼、幹事・講師等食事代 他
HP 関連費	30,000	会報・名簿等メンテナンス 他
会議費	100,000	総会・幹事会・会計監査の茶菓・食事代 他
事務局費	405,000	
(内訳) 事務・運営費	370,000	幹事交通費、会計監査交通費 他
通信費	10,000	送料（郵便・宅配便・メール便） 他
消耗品費	20,000	事務用品 他
雑費	5,000	振込手数料
予備費	77,000	
合計	812,000	

▼2013（H25）年度関東甲信越地区協議会 研修会報告

■□テーマ： 「図書館サービスのあり方を考える-図書館利用教育を如何に行うか」

■□日 時： 2013年10月18日（金） 13:00～17:30

■□会 場： 亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部図書館 プレゼンテーションルーム2
（太田構造記念館内 3F）

■□参加者： 29名（23館）

「図書館サービスのあり方を考える」をシリーズテーマに行っている今研修会、今回はサブタイトルにある「図書館利用教育をいかに行うか」をメインテーマとし開催した。

利用教育の必要性については、①教育効果を高める、②良質のレポート・卒論が書ける、③プレゼンテーション能力のアップ、④情報化社会を生き抜くための力を得る、という4つのポイントが挙げられる。これらは全て検証済みであり、授業の中でも「情報リテラシー教育」として取り入れられるようになってきた。そうした中で図書館員がどのように関わっていくのか、加えて教育の中で行き届かない部分をどのようにケアしていくか、という図書館独自の展開が必要となっている。

基調講義では、亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部図書館の利用教育の実践事例、さらに最新のアメリカ研修の視点から改善・改革点について言及していただいた。その後、実際の利用教育実施上の悩みなどについて話し合い、改善・改革点や課題解決法などを皆で考える、参加型の討論を行った。

【基調講義】

テーマ： 「亜細亜大学の図書館利用教育の実践事例と改革・改善点

—アメリカ研修の視点から—

講 師： 藤懸徳仁氏（亜細亜大学図書館司書）

亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部図書館では、4段階に分けて利用教育を行っている。入学時から始業までに行うオリエンテーションを第一ステップとし、第二ステップ以降は始業後に、図書館の活用方法についてガイダンスとして行っている。それぞれ第一ステップは「図書館活用術の指導（全学生共通）」第二ステップ「一般的な文献探索法の指導（全学生共通）」第三ステップ「主題別文献探索法の指導（学部・学科・科目別対応）」第四ステップ「卒論の文献探索法」としている。この4つのステップに合わせ実施することにより、図書館活用能力を身に付けるだけでなく、情報調査スキルの向上を目指している。

さらに新たな取り組みである、法学特有の判例・文献収集のガイダンスや、情報検索の指導にプレゼンテーションを加えたガイダンスの実践報告、キャリア支援課との連携で実施予定のガイダンスについて報告された。



また、アメリカ研修中に見学した図書館内の教室（多目的ルーム）とそこで行われていたガイダンスの紹介があった。

【討論会】

テーマ：「図書館利用教育実践課題徹底討論」

ファシリテーター： 齊藤誠一氏（千葉経済大学短期大学部）

助言者： 藤懸徳仁氏（亜細亜大学図書館司書）

毛利和弘氏（亜細亜大学）



参加者より基調講義への質問や、自校のガイダンスの事例が紹介され、事前に受付けた質問を踏まえた上で進められた。

ガイダンスをカリキュラム内に組み込むためには、教員に情報リテラシー教育の必要性を理解してもらうこと。そのために図書館員が先生方に積極的に働きかけ、信頼関係を構築していくことが大切だと話し合われた。

また、具体的にガイダンスのプログラム作りに参考となる資料(下記参照)や、就職支援のツールとして役立つコンテンツ「東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー」の「就活企業サーチ」なども紹介された。利用教育を行うためには、図書館員がどう学んでいくかも重要で、外部組織に積極的に関わるなど、自ら教員・学生に教える立場に身を置き努力していかなければならないと締めくくられた。

〔参考となる資料〕

- * 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『図書館利用教育ハンドブック：大学図書館版』日本図書館協会, 209p.
- * 日本図書館協会図書館利用教育委員会編『情報リテラシー教育の実践』日本図書館協会, 209p.
- * 毛利和弘「図書館利用指導の初歩的展開」『短期大学図書館研究』31, 2011, 93-100.
- * 毛利和弘「図書館利用教育の展開：ステップ2を中心に」『短期大学図書館研究』32, 2012, 17-25.

【情報交換会】

時 間：18:15～19:45

会 場：コリウス武蔵境

参加者：15名

昨年の研修会でのアンケートで要望があり、関東甲信越地区では初の情報交換会となった。



▼『短期大学図書館研究』34号（2015.3）原稿募集

ただいま 2015（H26）年度発行『短期大学図書館研究』34号の原稿を募集中です。図書館に関する研究論文、調査・事例報告、情報・ニュース等、投稿してみませんか？今年こそはと思う方、詳細は私立短期大学図書館協議会 HP（<http://shitantokyo.org/recruitment/>）の研究誌原稿募集に掲載してあります募集要項等をご覧ください。お待ちしております。

▼事務局日より

◎「図書館業務の相談窓口」について

日々の図書館業務上の個別相談を受け付ける「図書館業務の相談窓口」を設置しております。会長が相談窓口になり、質問内容から適任の相談スタッフ（本部理事）が回答・助言いたしますので、メールにてお気軽にご相談ください。

【相談窓口】会長：毛利 和弘 mouri@asia-u.ac.jp



▼編集後記

今号は 2013 年 5 月に青山学院女子短期大学で開催されました総会の報告と、10 月に亜細亜大学・亜細亜大学短期大学部図書館で開催されました研修会の報告です。会報作成に当たりご協力いただきました方々に心からお礼申し上げます。

（鶴川女子短期大学：是枝，上田女子短期大学：須田）

